

NANKAI BRAND

Visual Identity Guidelines

南海ブランド ビジュアル・アイデンティティ・ガイドライン

南海電気鉄道株式会社

Nankai Electric Railway Corporation | 2025 | ver. 1.6



はじめに

南海は民営鉄道のパイオニアとしてスタート。以来、鉄道事業を中心に運輸、不動産、流通、レジャー、建設など、幅広く事業を展開してきました。そして、これまでに築いてきた伝統をバックボーンに、お客さまに心から喜んでいただくためには何をすべきかを、従業員一人ひとりが考え、実践していくことにより、信頼され親しみのある「選ばれる企業グループ」を目指しブランド戦略を推進しています。

その旗印となるのが、ブランドシンボルやブランドロゴタイプです。南海のあらゆる視覚表現物にデザイン的な整合性を持たせ、統一をはかり、視覚的な南海らしさ、すなわちVI（ビジュアル・アイデンティティ）を確立していくことが重要です。

このVI ガイドラインでは、南海ブランドの基本的なデザイン要素とその使用基準について説明しています。南海ブランドの価値を高めていくために、本ガイドラインの主旨と規定されたルールや表記方法をよく理解し、遵守してください。そして、様々な視覚表現物において適切かつ効果的に運用することで、南海ブランドのVI の構築と浸透に努めてください。

本ガイドラインの使用にあたっての注意事項

・本ガイドラインの記載について、不明な点や質問は、担当部署までお問い合わせください。

A

Basic Design

ベーシックデザイン

- A-1 基本デザイン要素
- A-2 ブランドシンボル：余白規定／最小使用サイズ
- A-3 ブランドロゴタイプ 基本型・縦型：余白規定／最小使用サイズ
- A-4 ブランドカラー
- A-5 社名ロゴタイプ（略称社名ロゴタイプ・正式社名ロゴタイプ）
- A-6.1 ブランドスローガンとブランドロゴタイプとの組み合わせ：余白規定／最小使用サイズ
- A-6.2 英文ブランドスローガンとブランドロゴタイプとの組み合わせ：余白規定／最小使用サイズ
- A-7 ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプの使用例
- A-8 ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプの表示バリエーション
 - ・カラー表示（ポジティブ表示・ネガティブ表示／背景が黒で NANKAI 白抜き）
 - ・単色表示（ポジティブ表示／黒単色・ネガティブ表示／ロゴタイプ白抜き）
- A-9.1 ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプと背景色の関係①：ブランドカラー・無彩色の場合
- A-9.2 ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプと背景色の関係②：その他の背景色の場合
- A-9.3 ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプと背景色の関係③：写真背景の場合
- A-10 コーポレートシグネチャ
- A-11.1 使用禁止例①
- A-11.2 使用禁止例②

A-1

基本デザイン要素

南海のVIシステムは、基本デザイン要素によって構成され、その表示と展開方法が体系的に規定されています。様々なコミュニケーション活動において、視覚的にイメージを伝達訴求する重要な役割を果たしています。基本デザイン要素の使用にあたっては、オリジナルデータをそのまま使用してください。

ブランドシンボル



ブランドカラー



ブランドロゴタイプ

基本型



縦型



社名ロゴタイプ

略称社名ロゴタイプ

南海電鉄

正式社名ロゴタイプ

和文 南海電気鉄道株式会社

英文 Nankai Electric Railway Co., Ltd.

ブランドスローガン

‘なんかいいいね’があふれてる

ブランドスローガン付きブランドロゴタイプ



A-2

ブランドシンボル：余白規定 / 最小使用サイズ

2つの翼をデザインしたブランドシンボルは、総合生活企業として未来に向けて力強く羽ばたいていく南海の姿勢を表したものです。2つの翼は素晴らしい未来を切り拓いていく私たちの英知と、豊かな生活や文化を育んでいく私たちの活力をそれぞれシンボリックに表しています。大きく羽ばたこうとする両翼の間を上へと伸びるラインは、南海の輝くエネルギーの上昇、そしてより大きな世界へ飛躍しようとする企業の力を表現しています。

ブランドシンボルのイメージを損なうようなレイアウトは避け、ブランドイメージが常に一貫したものとなるように運用してください。

余白規定

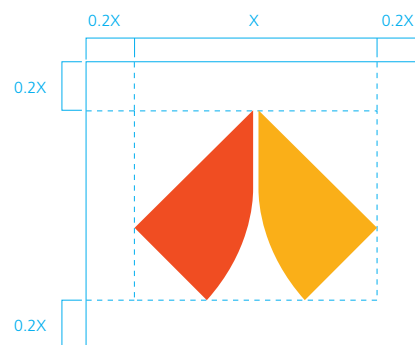
ブランドシンボルの視認性を高めるためには周囲に余白を確保する必要があります。その最小限確保すべき余白範囲が余白規定です。規定の中にデザイン要素や文字情報などが入らないようにしてください。

最小使用サイズ

最小使用サイズとは、ブランドシンボルが明瞭に識別できる最小の表示サイズです。原則としてこれより小さいサイズでは使用しないでください。



余白規定



最小使用サイズ



A-3

ブランドロゴタイプ 基本型・縦型：余白規定 / 最小使用サイズ

ブランドロゴタイプは、南海グループの全ての事業、サービスなどの提供価値を統合して訴求する最上位の商標として、南海のVIの核として使用していきます。

どのような表示状況にあっても、常に一貫したブランドイメージを明確に訴求するために、他の一切の表現要素、情報と組み合わせたり、混在しないよう十分な間隔を保ち、独立性を保って表示してください。

ロゴタイプには、基本型と縦型があります。基本的には基本型のロゴタイプを使用し、看板や、サイン表示などの、限られたスペースしかない場合にのみ、縦型を使用してください。

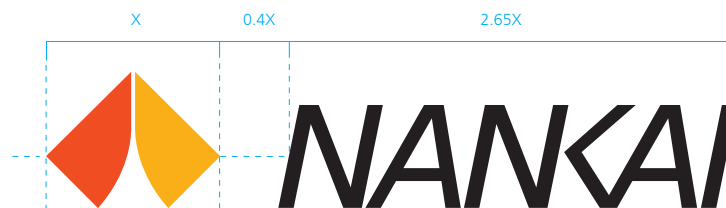
余白規定

ロゴタイプの視認性を高めるためには周囲に余白を確保する必要があります。その最小限確保すべき余白範囲が余白規定です。規定の中にデザイン要素や文字情報などが入らないようにしてください。

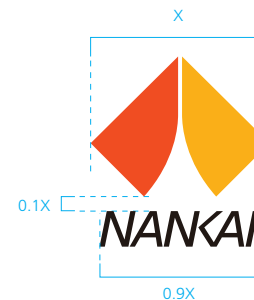
最小使用サイズ

最小使用サイズとは、ロゴタイプが明瞭に識別できる最小の表示サイズです。原則としてこれより小さいサイズでは使用しないでください。

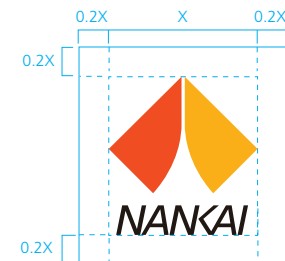
基本形



縦型



余白規定



最小使用サイズ



A-4

ブランドカラー

ブランドカラーは、南海ブランドのイメージを色彩的に表現し、その価値を印象深く訴求するために選ばれたものです。南の海に輝く太陽を思わせる「ファインレッド」は、燃えるような情熱、包み込むような信頼感を表現しています。あたたかい南風を感じさせる「ブライトオレンジ」は、はつらつとした力、おおらかで明るいヒューマンな心を表します。原則、イメージの一貫性を保つため、DIC カラー（特色）を基準として、可能な限り色を再現してください。

ブランドカラー

ファインレッド

DIC: PART II 2508

Process: C0 M85 Y100 K0

RGB: R223 G78 B0

ブライトオレンジ

DIC: PART II 2530

Process: C0 M35 Y100 K0

RGB: R255 G183 B0

A-5

社名ロゴタイプ（略称社名ロゴタイプ・正式社名ロゴタイプ）

社名ロゴタイプは、社名を表示するために特別に設計された組文字です。社名表示を行う際は、原則として正式社名ロゴタイプを使用してください。ただし、文章中に社名を表示する場合には、正式名称ロゴタイプは使用せず、「南海電気鉄道株式会社」のように一般書体で表示してください。また、社名ロゴタイプはブランドシンボルと組み合わせて使用することはできません。

色彩表現は、基本的にはブランドカラーは使用せず、ブラックで表示することを基本とします。背景が濃い色の場合、ロゴタイプは白抜きで表示し、必ずオリジナルデータをそのまま使用してください。

最小使用サイズ

最小使用サイズとは、社名ロゴタイプが明瞭に識別できる最小の表示サイズです。原則としてこれより小さいサイズでは使用しないでください。

略称社名ロゴタイプ

南海電鉄

（縦型）

南海電鉄

最小使用サイズ

10mm/47px

南海電鉄

正式社名ロゴタイプ

（和文）

南海電気鉄道株式会社

（縦型）

南海電気鉄道株式会社

最小使用サイズ

24mm/110px

南海電気鉄道株式会社

（英文）

Nankai Electric Railway Co., Ltd.

23.7mm/135px

Nankai Electric Railway Co., Ltd.

A-6.1

ブランドスローガンとブランドロゴタイプとの組み合わせ：余白規定 / 最小使用サイズ

ブランドスローガンは、目指す「南海らしさ」を端的に表現した言葉です。原則、ブランドスローガンを効果的に訴求するために、基本型のブランドロゴタイプと組み合わせて使用することを基本とします。組み合わせ方、書体については定められたデータが用意されていますので、オリジナルデータをそのまま使用してください。

ブランドスローガンの表記

ブランドスローガンを文章中で記述する場合は、「『なんかいいいね』があふれてる」のようにテキストで表記し、ブランドスローガンであることが明確にわかるように鍵括弧を使用してください。その際、必ず「なんかいいいね」の部分は、シングルクォーテーション (') で囲って表示してください。

余白規定

ブランドスローガンとブランドロゴタイプの組み合わせの視認性を高めるためには、周囲に余白を確保する必要があります。その最小限確保すべき余白範囲が余白規定です。規定の中にデザイン要素や文字情報などが入らないようにしてください。

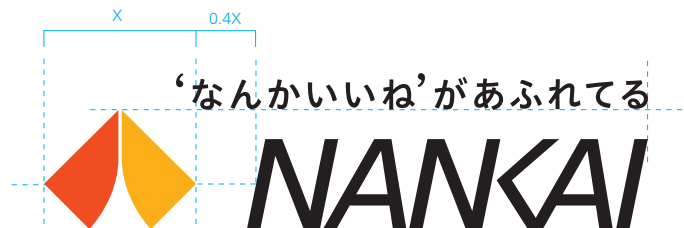
最小使用サイズ

最小使用サイズは、ブランドスローガンが識別できる最小の表示サイズです。原則としてこれより小さいサイズでは使用しないでください。

ブランドスローガン

‘なんかいいいね’があふれてる

ブランドスローガン付きブランドロゴタイプ



余白規定



最小使用サイズ



A-6.2

英文ブランドスローガンとブランドロゴタイプとの組み合わせ：余白規定 / 最小使用サイズ

英文ブランドスローガンは、目指す「南海らしさ」を端的に表現した言葉です。英語のコミュニケーションツールに主に使用します。原則、英文ブランドスローガンを効果的に訴求するために、基本型のブランドロゴタイプと組み合わせることを基本とします。組み合わせ方、書体については定められたデータが用意されていますので、オリジナルデータをそのまま使用してください。

余白規定

英文ブランドスローガンとブランドロゴタイプの組み合わせの視認性を高めるためには、周囲に余白を確保する必要があります。その最小限確保すべき余白範囲が余白規定です。規定の中にデザイン要素や文字情報などが入らないようにしてください。

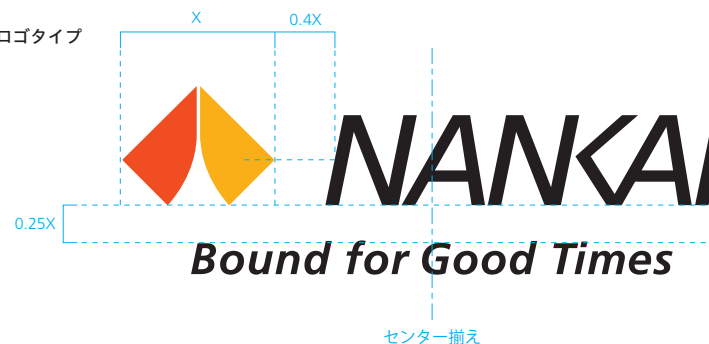
最小使用サイズ

最小使用サイズは、英文ブランドスローガンが識別できる最小の表示サイズです。原則としてこれより小さいサイズでは使用しないでください。

英文ブランドスローガン

Bound for Good Times

英文ブランドスローガン付きブランドロゴタイプ



余白規定



最小使用サイズ



A-7

ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプの使用例

ブランドロゴタイプとブランドスローガン付きロゴタイプは、それぞれ使用する場面が異なります。それぞれのロゴの役割を理解し、適切な場所に使用してください。使用方法について、ご不明の際は、担当部署までお問い合わせください。

ブランドロゴタイプ

ブランドロゴタイプは、会社自体を表すことを目的とした物（封筒、社屋看板、ユニフォームなど）に主に使用します。

ブランドスローガン付きブランドロゴタイプ

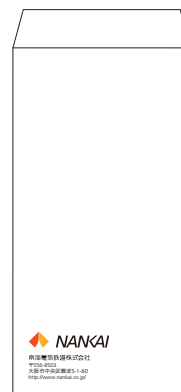
ブランドスローガン付きブランドロゴタイプは、お客様とのコミュニケーションを目的とした広告宣伝物等のコミュニケーションツール（動画、webサイト、名刺など）に主に使用します。

外国語の頒布物に関しては、英文ブランドスローガン付きブランドロゴタイプを使用してください。

ブランドロゴタイプの使用場面



封筒



ヘルメット



社屋看板



ブランドスローガン付きロゴタイプの使用場面



広告宣伝物



記者会見用バックパネル（イベントや限定的な場合）



名刺



ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプの表示バリエーション

フルカラータイプ

原則、ブランドロゴタイプはフルカラーで表示することとします。ブランドロゴタイプをフルカラーで表示する場合は、ブランドシンボルを「ファインレッド」「ブライトオレンジ」、ロゴタイプやブランドスローガンをブラックで表示することを基本とします。背景が濃い色の場合、ロゴタイプやブランドスローガンは白抜きで表示してください。

単色タイプ

ブランドロゴタイプを単色で表示する場合は、ブランドシンボルは100%ベタで表現し、アミガケでの表示はできません。その他の色で表示する場合は、担当部署までお問い合わせください。

フルカラータイプ

ポジティブ表示



ネガティブ表示



単色タイプ

ポジティブ表示



ネガティブ表示



A-9.1

ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプと背景色の関係①：ブランドカラー・無彩色の場合

ブランドロゴタイプやブランドスローガン付きブランドロゴタイプの表示にあたっては、本来目指すイメージが損なわれないように、最大限の注意が必要です。チャートに示す基準に従い、表示背景の色合いや濃淡に応じて、ブランドロゴタイプの表示色を選定し、背景と十分なコントラストを持った表現を心掛けてください。

視認性を十分に確保し、ブランドイメージが常に一貫したものとなるように運用してください。



A-9.2

ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプ②：その他の背景色の場合

ブランドロゴタイプやブランドスローガン付きブランドロゴタイプの表示にあたっては、本来目指すイメージが損なわれないように、最大限の注意が必要です。チャートに示す基準に従い、表示背景の色合いや濃淡に応じて、ブランドロゴタイプの表示色を選定し、背景と十分なコントラストを持った表現を心掛けてください。

視認性を十分に確保し、ブランドイメージが常に一貫したものとなるように運用してください。

	青系	緑系	黄系	赤系
10%				
20%				
30%				
40%				
50%				
60%				
70%				
80%				
90%				
100%				

A-9.3

ブランドロゴタイプ・ブランドスローガン付きブランドロゴタイプ③：写真背景の場合

写真等を背景に表示する際は注意が必要です。
ブランドロゴタイプやブランドスローガン付き
ブランドロゴタイプを常に一貫したイメージで
訴求するために、右記に示す規定を参考に適
正な運用を心がけてください。

背景が写真の場合



バックの写真が単調で淡い色の場合は写真の上
に表示することができます。



濃いカラー、ローコントラストの写真の場合、
ロゴタイプやブランドスローガンを白ヌキで表示
することができます。

禁止された表示例



緑をつけて表示することはできません。



フルカラーで表示できる際は、単色タイプでの
表示をしてはいけません。可能な限りフルカラー
タイプを使用してください。

A-10

コーポレートシグネチャ

コーポレートシグネチャとは、ブランドロゴタイプと正式社名ロゴタイプなど他の基本デザイン要素および事業所名や所在地などの2次情報を組み合わせて表示し、企業としての署名機能を果たすものです。

適用するアイテムの特性や条件に応じて、ブランドロゴタイプと正式社名ロゴタイプ、所在地等を離すことも可能ですが、その場合はこの基準をベースに、全体としてのバランスを考慮してレイアウトしてください。

日本語版



部署表記あり



英語版



部署表記あり



A-11.1

使用禁止例①

NG: 禁止された表示例



ブランドシンボルと社名ロゴタイプを組み合わせ使用してはいけません。



他のグラフィック要素を余白規定内に表示してはいけません。



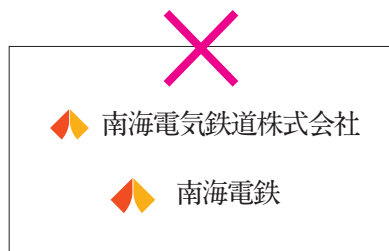
ロゴタイプを既存のフォントに変えてはいけません。



単色で表示する場合、アミがけで表示することはできません。必ず100%ベタで表示してください。



ブランドシンボルの上に文字やイラストを表示してはいけません。



社名ロゴタイプを既存のフォントで置き換えた上、ブランドシンボルを組み合わせることはできません。



解像度不足の画像を使用して表示することはできません。必ず高解像度のデータを使用してください。



陰影や縁をつけて表示してはいけません。



変形したり、回転はできません。



反転させてはいけません。



指定色以外の色で表示してはいけません。



単色表示の際、ブランドシンボルやロゴタイプを「ブライトオレンジ」、「ファインレッド」のみで表示してはいけません。



他のグラフィック要素と組み合わせてはいけません。



アウトラインで表示してはいけません。



視認性を損なうような複雑な地紋・写真の上に表示してはいけません。

A-11.2 使用禁止例②

NG: 禁止された表示例



背景とのコントラストが十分に得られない表示をしてはいけません。



一部をネガティブにしてはいけません。



ブランドシンボルとロゴタイプの間隔を変えてはいけません。



ロゴタイプの字間を変えてはいけません。



ブランドシンボル「ブライトオレンジ」、「ファインレッド」1色、ロゴタイプを「スマ」で表示してはいけません。



ブランドシンボルとロゴタイプを別々に使用することはできません。必ず組み合わせたものを使用してください。



ブランドロゴタイプや、社名ロゴタイプを文章中に使用することはできません。



ブランドシンボルを記号として使用することはできません。

NG: 禁止されたブランドスローガン表示例



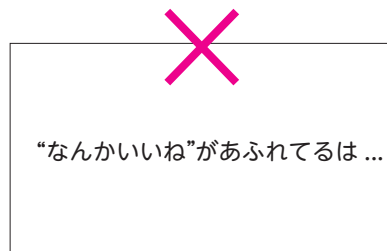
ブランドスローガンの比率・位置・距離を変えてはいけません。



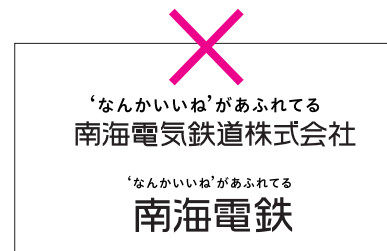
ブランドスローガンを他のフォントで組み合わせることはできません。必ずオリジナルデータを使用してください。



ブランドスローガンを2行に分けて表示してはいけません。



文章中表示する際ダブルクォーテーションで表示してはいけません。必ずシングルクォーテーションで表記してください。



ブランドスローガンを正式社名ロゴタイプや略式社名ロゴタイプと組み合わせることはできません。